

# デザインで がんは 減らせるか

公益財団法人日本対がん協会 主催  
第6回 がん征圧ポスター  
デザインコンテスト

そもそも、何のためにデザインするのか。あなたはデザインで何ができるのか。その問いの答えのひとつを、表現してみませんか。全国に貼られるポスターで。

最優秀賞作品は、9月のがん征圧月間をアピールするためのポスターとして活用します。ポスターは5万部ほど制作し、全国の自治体、保健所、病院などで掲示されます。

審査員7名(敬称略・50音順) 大谷剛志(厚生労働省健康局がん・疾病対策課 課長補佐)、岸田徹(NPO法人がんノート 代表理事)、後藤尚雄(公益財団法人日本対がん協会理事長)  
中川恵一(東京大学医学部附属病院放射線科准教授)、廣村正彰(グラフィックデザイナー)、本田亮(クリエイティブディレクター)、本多昭彦(公益財団法人日本対がん協会 広報グループマネージャー)

**募集内容** がんの早期発見の大切さを伝え、検診の受診を呼びかける作品

**作品テーマ** 「がん検診に行こう」  
ただし特定のがん(「乳がん」「肺がん」など)のみを言及するのは避けてください。

**応募資格** 高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生  
※グループ応募も可能です。(メンバー全員が応募資格を有していること) ※1人もしくは1グループで複数応募できます。

**副賞** 最優秀作品(1点)賞金10万円、優秀作品(3点)賞金1万円を贈呈

WEBで詳細情報を見て  
エントリーしてください

[www.jcsposter.com](http://www.jcsposter.com)



## 廣村正彰 グラフィックデザイナー

がんの「予防」、「検診の大切さ」、「早期発見」というメッセージをどのように視覚化して、正確に伝えるか。デザインには連想がとても重要です。見る人たちの想像を広げ、行動を促すデザインを期待しています。



## 本田亮 クリエイティブディレクター

がんになる人が増えています。でも、早期検診を受ければ、助かる命をきちんと救えるようになります。がん征圧ポスターはデザインと言う名の「人助け」です。どしどし応募してがんを蹴散らしてください。

## 岸田徹

NPO法人がんノート  
代表理事



## 中川恵一

東京大学医学部附属病院  
放射線科准教授



エントリー及び作品募集期間  
2018年1月17日  
3月23日まで 消印有効